



# 小国中だより

小国町立小国中学校  
令和2年11月25日  
文責 八木幸夫

## 進路決定に向けて

11月も後半に入り、3年生の進路決定に向けての動きが本格化してきました。今年度も3年生は全員が高校進学希望です。進路希望調査に基づく三者面談が始まり、具体的な志望校の決定に向けての話し合いが行われています。

高校で学ぶということは、経済的な面、早朝の弁当づくり、送迎など様々な面で家族に負担をかけることとなります。その負担を家族は強い決意と覚悟で受け止めるのです。家族への感謝を忘れず、自分の希望進路に対する強い決意と覚悟を持って入試に立ち向かって欲しいと思います。

県立小国高校を志願する生徒のレポート作成も始まりました。本校から、県立小国高等学校を志願する場合、保小中高一貫教育を実施していることから、連携型入学者選抜という特殊な入試が行われています。連携型入学者選抜について紹介します

### 県立小国高等学校 連携型入学者選抜

小国町の推進する保小中高一貫教育の柱に位置づけられる「白い森学習（探究的な郷土学習）」及び「国際・情報」教育の成果が、どの程度身につけているのかを評価する試験内容となっています。

#### 小国高校志願資格

連携型中高一貫教育の中学校に在籍している者が小国高校を志願する場合は、やむを得ない事情がある場合を除き、中高一貫教育における連携型入学者選抜とする。

#### 選抜試験の内容

##### ①英語による面接

\* 志願者本人についての英語による質疑、30語程度の英文の音読とその英文の内容についての質疑を英語で行います。

##### ②「学習のまとめ」の発表並び面接

\* 「学習のまとめ」は中学校取り組んだ白い森学習（地域学習）のまとめのレポートです。発表は、まとめのレポートについて、パワーポイント等コンピューターを使ってのプレゼンテーション・説明を行います。

\* 面接では、「学習のまとめ」の発表内容についての質問、志望の動機や将来の進路希望、中学校での経験等について行われます。

**試験日 令和3年2月5日（金）**

\* 先日本校の卒業生である小国高生が本校を訪れ、話をする機会がありました。「クアーズに就職が決まりました。」と明るい表情で報告してくれました。どことなく大人びて見え、頼もしく感じました。

連携型入学者選抜を含む公立高等学校の入試日程を裏面に掲載いたしました。